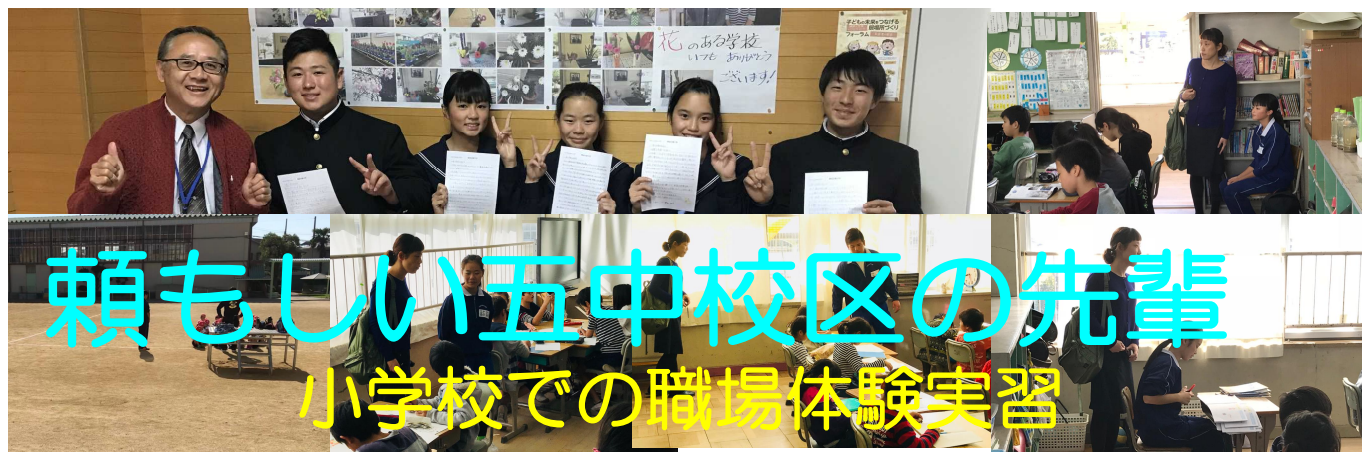




先日、二日間にわたって、第五中学校の2年生5名が職場体験実習に来てくれました。事前の打ち合わせで、ある宿題を出しました。「皆さんは、普段は生徒の立場で授業を受け、学校生活を送っている。今度の実習では、先生の立場に身を置いて実習してもらいます。そこで実習までの一週間、五中の先生の言ってることやしてることを、先生の立場になって考えて実習に臨んでください。」と。

そして、二日間の実習を終え、実習をふり返り、そのまとめを持ってきてくれました。とても深く考えてくれています。その一部を紹介させていただきます。

ちょっとした言葉が

…自分自身体験してみて難しさを実感しました。その反面うれしいことや楽しいことがやりがいにつながっているんだなと自分なりに感じました。何か一つできるたびに「できた！」と喜ぶ顔を見るとこっちまでうれしくなってきて…ちょっとした「ありがとう」「うれしい」とかの言葉が、それこそ名前を呼ばれるのが、こんなにうれしいのかと思いました。…

子どもたちの声を聞いていたら

…自分で教えたことやアドバイスしたことを子どもたち一人でやってみて、何かを成功してみんなが笑っているところを見て、私自身がうれしかったです。これが教師のやりがいだと思います。合唱や音読をしている子どもたちの声を聞いていたら、自分がニコニコしていました。…クラスの中から一人ぼっちを出さないようにしていることに驚きました。とてもいい経験をしました。…

やりがいを感しました

…この二日間でたくさんのことを学び、知ることができました。…先生方はその子一人ひとりにあわせて、…ノートを書くスピードも、みんながついてこれるように、ゆっくりしていねいにされていて、すごいなと思いました。…先生になると、つらいことや大変なこと、しんどい

こともあると思います。私自身も体験してみて、大変でしたが、うれしさや楽しさがあって、やりがいを感しました。…

笑顔に感謝しています

…先生に教室に案内されて…緊張しながら自己紹介をしました。自分はこの二日間をなじめるかどうか不安になりました。…みんなが笑顔で「遊びに行こう」とさそってくれました。その瞬間、自分の中から、不安や緊張がふっとんでいきました。…小学生のみんなの明るい笑顔で疲れもふっ飛びました。…この職場体験で出会った小学生のみんなのような笑顔に感謝しています。そして、このような笑顔を大切にしていきたいです。…

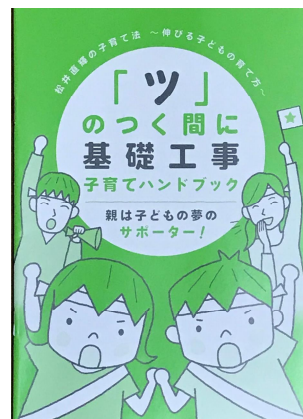
小学生に教えられることも

…この二日間でいろいろなことを学びました。先生たちは子どもたちのことを考えて、教え方を工夫していることや、丸付けとか簡単って思ってたけど、一人ひとりのまちがいを見つけるのは大変だということがわかりました。…先生に注意されると1回できいたり、音読や授業の挨拶の声も中学2年生よりも大きくて感動しました。小学生に教えられることもあるんだなと思いました。…

とても気持ちのこもった暖かい、実習報告文でした。五中生にあらためて、私たちの仕事の意味と意義を教えられた気がします。五中生の皆さん、ありがとうございました！

「ツ」のつく間に基礎工事？！

本市の教育委員をされている松井直輝さんは、ご自身が堺市、和歌山県橋本市で幼稚園・認定こども園の園長もされています。松井委員に右の冊子をいただきました。「『ツ』のつく間」とは、「ツ」のつく年齢、「ココノツ」9歳までの年齢が人間としての基礎ができる大切な年齢だという意味です。9歳を過ぎると思春期にさしかかり、大人の関わりももちろん大切ですが、自主性自発性の比重が大きくなります。「ツ」のつく間に、親や周りの大人が子どもたちに、しっかり愛情を注ぎましょうというメッセージです。その冊子から一部紹介したいと思います。



【愛される実感…子ども自身が感じるもの】

松井委員は、子育てに大切なものとして、まず、「愛される実感」をあげています。「何よりも親の愛情をいっぱいを受けて育つことが大切です。これが子育ての大原則です。『愛される実感』は子ども自身が感じるもので、基本的な信頼関係の基礎になります」と。

【しつけについて】

松井先生は、次の5つをあげています。①あいさつ ②返事 ③履き物をそろえる ④姿勢を正す ⑤食事のマナー 天美小学校の3つの“あ”と2つの“あ”も、その5つをヒントにしました。

【自己肯定感】

ニコッと笑顔で接することで、子どもは自分の存在を認められたと感じ、「自己肯定感」が高まります。冊子の中でこんな提案もされています。「子どもの良いところ、家族の良いところ、自分の良いところを、大きな紙に毎日一つずつ書き出しましょう。期間は3ヶ月の100日です。必ず家族の雰囲気良くなります。家族全員の自己肯定感が上がるので、今までよりもっと夢や希望にあふれ、意欲に満ちた家族になります。」と。

「ツ」のつく間はもちろん、我々大人の職場や人間関係にあてはめても、とても大切なことだと思います。

(出典：『「ツ」のつく間に基礎工事』子育てハンドブック／監修 松井直輝)



未来の囲碁名人！

本校3年生の川端篤志さんが、大阪府大会を勝ち抜き全国大会に出場されました。全国大会では惜しくも2勝1敗で、決勝へあと一歩でした。

全国大会出場の報告を兼ね松原市長に表敬訪問され、広報「まつばら」11月号にも掲載されました。

現在、プロ棋士をめざし、修行されています。井山裕太さんに次ぐ、大阪からの名人・七冠に期待します。



川端篤志さん
(天美小3年生)

「第38回文部科学大臣杯少年少女囲碁大会全国大会」出場

12/9(土)は、アジアリサイクルです！

来月、12月の第二土曜日、9日(土)はアジアリサイクル貢献活動です。ご家庭で不要になった品物で、まだ使えるものを、アジアの国々でリユースしてもらい、そこで得た若干の利益を、本校の図書購入に還元してもらっています。

12/9よろしく！

四季を楽しもう！ 大泉緑地

下の写真は、最近の大泉緑地の写真です。紅葉がようやく始まった樹木もあり、日和さえ良かったら、お気軽に絶景を楽しめます。写真は我が家の犬の散歩の折に撮ったものです。

